

(2) 防災クイズ・アンケート

児童・生徒の地震・津波に対する知識や防災意識の現状を把握し、本事業の取り組みへの指標とするために、事前に防災クイズ・アンケートを実施した。

(ア) 実施日

7月3日(水)～7月18日(木) ※一色地区(佐久島小中を除く)の各校で実施

(イ) 実施人数

学 校 名	実施学年：人数
一色中学校(拠点校)	1年：180名、2年：227名、3年：201名
一色南部小学校(拠点校)	4年：40名、5年：35名、6年：35名
一色中部小学校	6年：76名
一色東部小学校	5年：49名、6年57名
一色西部小学校	6年：59名
合 計	中学生：608名、小学生：351名 ※ 全959名

(ウ) 集計結果

<防災クイズ>

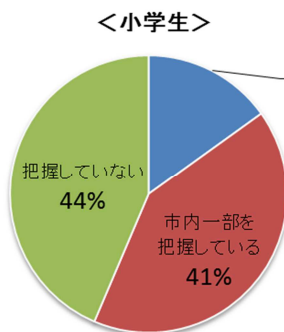
※ 防災クイズについては、すべて3択問題として実施した。



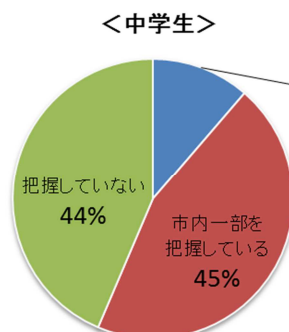
設 問	正 解	正解率 (小)	正解率 (中)
・「震度」は地震の揺れの強さを表しているが、現在、日本では何段階に区分されているか?	10段階	29%	56%
・地震のエネルギーの大きさを表すマグニチュードが1増えた場合、地震波のエネルギーはおよそ何倍になるか?	およそ30倍		25%
・津波による浸水があったとき、何cm以上で人が歩けなくなるか?	30cm以上	50%	42%
・南海トラフを震源とする巨大地震が発生したとき、西尾市にどのような影響があると想定されているか?	最大震度7、津波4m以上	62%	71%
・地震によって引き起こされる現象は?	液状化現象		85%
・家にいて大地震が起きたときに、最初にすべきことは?	机の下などに隠れる	80%	81%
・海の近くにいるときに地震が発生した場合、適切な行動は?	よりはやく、より高い場所に避難	94%	93%
・エレベーターに乗っているときに地震が発生した場合、適切な行動は?	すべての階のボタンを押す	45%	49%
・「ライフライン」とは、どういう意味か?	電気、ガス、水道など、生活に不可欠なもの	34%	55%

<防災アンケート>

Q：津波に襲われたとき、西尾市内において、「浸水しない」と想定されている地域（エリア）を把握していますか？



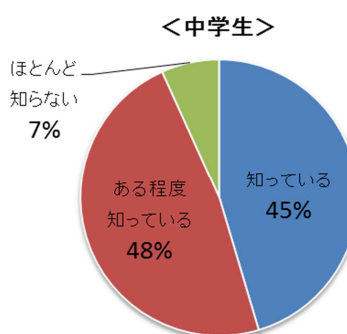
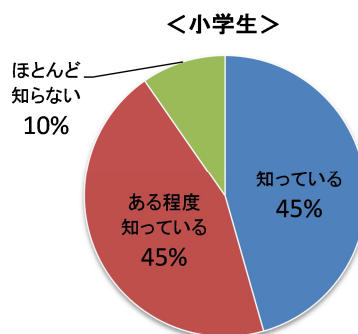
市内全域を把握している
15%



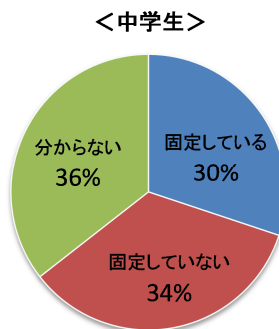
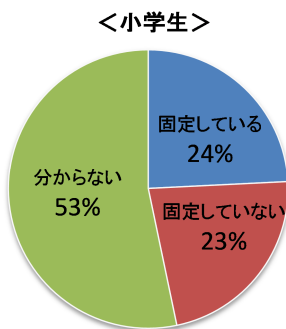
市内全域を把握している
11%



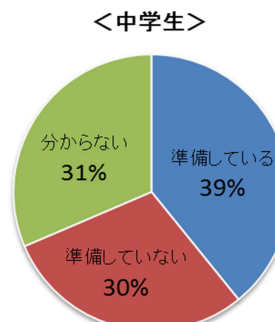
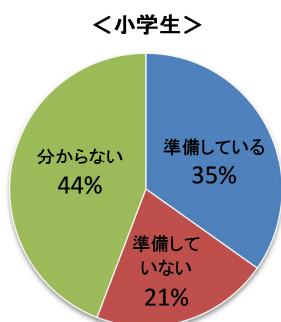
Q：地震や津波など、災害に応じた避難場所や避難所を知っていますか？



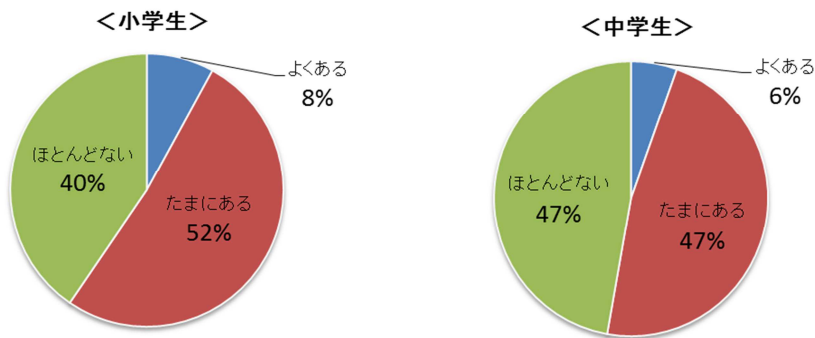
Q：あなたの家では、地震に備えて家具等を固定していますか？



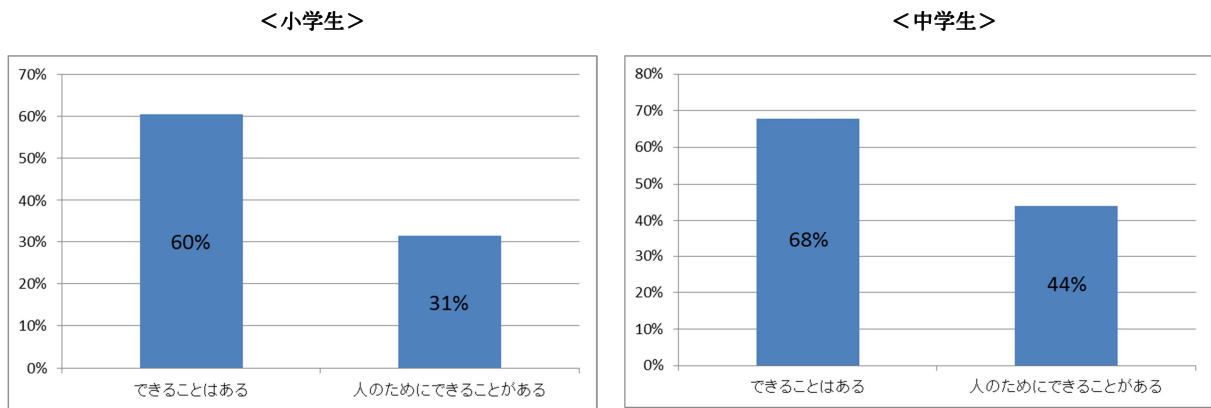
Q：あなたの家では、避難所グッズを入れた「非常持ち出し袋」を準備していますか？



Q：あなたは家族と、地震などの災害について話し合うことはありますか？



Q：災害時、あなたにできることはありますか？



(エ) 課題と今後の方向性

- 地震や津波が発生したら、どのような行動を取るべきかについては、多くの児童・生徒が理解していた。これは、学校・地域における防災訓練や、これまでの啓発活動等の成果によるものであると考えられる。一方で、エレベーターに乗っているときの適切な行動を知っている児童・生徒の割合は、5割にも満たなかった。学校や自宅以外の場所にいる時の避難行動についても、日頃から話し合っておく必要がある。
⇒ 防災講演会の折に、様々な状況における避難行動について触れる
- 津波の危険性がある西尾市において、浸水想定区域外エリアを把握していない児童・生徒は4割を超えていた。本市が推奨している浸水想定区域外への避難行動についても周知する必要がある。
⇒ 西尾市の被害想定の説明、津波浸水想定区域外への避難訓練の実施
- 家具等の固定をしている家庭は3割弱、「非常用持ち出し袋」を準備している家庭は4割弱と、どちらも割合は低い。また、災害についてほとんど話し合うことをしていない家庭も5割近くいたことから、保護者等にも災害に対する意識を高めてもらう必要がある。
⇒ 児童・生徒からの啓発、地域発信の場の設定
- 6割を超える児童・生徒が「災害時にできることはある」と回答しており、その多くが「自分の命は自分で守る」と記述されていた。また、「避難する時に大声で地域に呼びかける」「お年寄りや小さい子どもを助ける」「避難所での手伝い」など、既に人のためにできることがあることを学んでいる児童・生徒が3～4割いることが分かった。これは、各小学校においても防災教育を進めている成果であると言える。災害時には、小中学生が大きな力になるということを学習し、地域を守り・支えてくことのできる子どもたちに育ってほしいと感じた。
⇒ 各種活動の実施